



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住本 憲隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 早川 崇 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	111,181	7.8	13,190	23.0	15,277	34.8	11,023	27.5
2023年3月期第1四半期	103,127	23.3	10,727	27.7	11,330	25.9	8,649	34.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 25,537百万円 (7.3%) 2023年3月期第1四半期 23,793百万円 (310.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	107.94	-
2023年3月期第1四半期	84.69	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	515,898	424,083	79.8
2023年3月期	497,083	404,750	78.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 411,454百万円 2023年3月期 392,177百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	60.00	100.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	40.00	-	60.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	226,000	6.1	24,500	29.1	27,000	32.5	20,000	31.0	195.83
通期	466,000	6.9	50,000	24.0	55,000	25.8	41,500	25.3	406.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	110,881,044株	2023年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,753,905株	2023年3月期	8,753,672株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	102,127,159株	2023年3月期1Q	102,127,691株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに回復する状況にありました。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は111,181百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は13,190百万円（前年同四半期比23.0%増）、経常利益は15,277百万円（前年同四半期比34.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,023百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末の為替換算レートは、144.99円/米ドル（前第1四半期連結累計期間末は、136.64円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、行動制限がなくなり人流が回復してきたことから、コンビニエンスストア、スーパーマーケットの惣菜・おにぎり向けや外食向け商品の需要が高まり、好調に推移いたしました。また、前浜の水揚げが好調となり取扱量が増加いたしました。その結果、売上高は7,556百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は133百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

海外即席麺事業は、米国では一部得意先の在庫調整による影響で受注数量が減少したものの、メキシコでは主力商品のカップ麺、袋麺ともに好調に推移したこと、および2022年10月に米国、メキシコで実施した価格改定による販売単価の上昇により増収となりました。その結果、売上高は47,468百万円（前年同四半期比14.2%増）、セグメント利益は、原材料費の増加や人件費の増加等による製造コストの上昇を売上高の増加等によりカバーし、9,195百万円（前年同四半期比44.0%増）となりました。

国内即席麺事業は、製造コストが上昇する中、安全・安心で高品質な商品を安定的に供給するため、前年度に続き6月に価格改定を実施いたしました。そのような中、カップ麺では主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」「麺づくり」シリーズ等の拡売に努めました。一方、価格改定の影響もあり主力商品が苦戦する中で、「ごつ盛り」シリーズ等のオープンプライス商品が全体を牽引し増収となりました。袋麺では前年度に発売した「マルちゃんZUBAAN!」シリーズが目標に届かず減収となりました。その結果、売上高は21,989百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は、販売促進費や広告宣伝費等の減少はありましたが、減価償却費の増加等により1,086百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

低温食品事業は、原材料費や製造経費等が上昇する中、安全・安心で高品質な商品を安定的に供給するため、生麺・チルド商品・冷凍麺・一部冷凍食品の価格改定を4月に実施いたしました。そのような中、生麺では「マルちゃん焼そば3人前」シリーズ、「マルちゃんの冷し生ラーメン3人前」シリーズ等の主力商品を中心に拡売に努めました。冷凍食品では産業給食や行楽・観光需要の回復や惣菜ルートの開拓により業務用商品が伸びました。その結果、売上高は14,326百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント利益は、原材料費や製造経費の増加はあったものの、価格改定効果と売上の拡大により1,959百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

加工食品事業は、製造コストが上昇する中、安全・安心な商品を安定的に供給するため、4月に価格改定を実施し、改定後の需要底上げに努めております。米飯商品では改定後も需要の高い状況が続いており、無菌米飯、レトルト米飯ともに好調に推移したことで増収となりました。フリーズドライ商品では改定後に販売が落ち込み、減収となりました。その結果、売上高は4,492百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント損失は、価格改定効果はあったものの、一時的な補修費等の増加の影響により21百万円（前年同四半期はセグメント利益228百万円）となりました。

冷蔵事業は、新型コロナウイルス感染症での行動制限が緩和され、保管品の取扱いが回復傾向になるとともに、配送品等の取扱いも増加いたしました。また、冷蔵倉庫の料金改定にも努めたことにより増収となりました。その結果、売上高は5,963百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は、商品の取扱い増加や冷蔵倉庫料金の価格改定による増収はあったものの、人件費や補修費等の増加の影響により648百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は9,384百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は225百万円（前年同四半期比35.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は18,815百万円増加し515,898百万円、純資産は19,332百万円増加し424,083百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券、商品及び製品が増加しました。負債は、主に未払法人税等、繰延税金負債は増加しましたが、未払費用が減少しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は79.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2023年5月12日に発表した見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	124,013	125,188
受取手形、売掛金及び契約資産	59,444	57,640
有価証券	62,000	80,000
商品及び製品	15,533	18,954
仕掛品	423	543
原材料及び貯蔵品	18,449	18,132
その他	5,850	5,276
貸倒引当金	△638	△638
流動資産合計	285,076	305,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,477	73,684
機械装置及び運搬具（純額）	44,141	45,100
土地	35,291	35,596
リース資産（純額）	1,639	1,629
建設仮勘定	4,220	6,176
その他（純額）	1,151	1,153
有形固定資産合計	159,922	163,340
無形固定資産		
その他	2,553	2,556
無形固定資産合計	2,553	2,556
投資その他の資産		
投資有価証券	29,164	31,696
長期預金	18,000	11,000
繰延税金資産	1,292	1,148
退職給付に係る資産	44	39
その他	1,028	1,020
投資その他の資産合計	49,530	44,903
固定資産合計	212,006	210,800
資産合計	497,083	515,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,320	32,011
短期借入金	377	375
リース債務	294	306
未払費用	25,558	22,010
未払法人税等	3,301	4,978
役員賞与引当金	120	50
資産除去債務	4	4
その他	2,671	2,954
流動負債合計	64,648	62,691
固定負債		
リース債務	3,075	3,055
繰延税金負債	2,447	3,910
役員退職慰労引当金	318	312
退職給付に係る負債	20,245	20,149
資産除去債務	213	214
その他	1,382	1,481
固定負債合計	27,683	29,123
負債合計	92,332	91,814
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,941	22,941
利益剰余金	326,158	331,054
自己株式	△8,236	△8,237
株主資本合計	359,833	364,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,899	10,596
繰延ヘッジ損益	△34	78
為替換算調整勘定	25,305	37,811
退職給付に係る調整累計額	△1,826	△1,760
その他の包括利益累計額合計	32,343	46,725
非支配株主持分	12,573	12,629
純資産合計	404,750	424,083
負債純資産合計	497,083	515,898

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	103,127	111,181
売上原価	75,993	81,466
売上総利益	27,133	29,715
販売費及び一般管理費	16,406	16,524
営業利益	10,727	13,190
営業外収益		
受取利息	167	1,356
受取配当金	296	306
持分法による投資利益	33	18
雑収入	250	499
営業外収益合計	747	2,181
営業外費用		
支払利息	56	53
為替差損	51	—
雑損失	35	40
営業外費用合計	144	94
経常利益	11,330	15,277
特別利益		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	111	13
その他	1	0
特別利益合計	112	14
特別損失		
固定資産除売却損	143	15
災害による損失	57	—
その他	6	1
特別損失合計	206	17
税金等調整前四半期純利益	11,236	15,275
法人税、住民税及び事業税	1,760	3,582
法人税等調整額	698	616
法人税等合計	2,458	4,199
四半期純利益	8,778	11,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,649	11,023

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,778	11,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	1,731
繰延ヘッジ損益	26	112
為替換算調整勘定	14,947	12,505
退職給付に係る調整額	86	70
持分法適用会社に対する持分相当額	39	40
その他の包括利益合計	15,015	14,461
四半期包括利益	23,793	25,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,692	25,405
非支配株主に係る四半期包括利益	101	131

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	7,006	—	21,655	13,452	4,394	5,750	52,260	8,899	61,159	—	61,159
米州	—	41,555	—	—	—	—	41,555	—	41,555	—	41,555
その他	342	—	—	—	—	—	342	69	411	—	411
売上高(注) 4	7,349	41,555	21,655	13,452	4,394	5,750	94,158	8,968	103,127	—	103,127
外部顧客への売上高	7,349	41,555	21,655	13,452	4,394	5,750	94,158	8,968	103,127	—	103,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174	—	15	1	—	258	449	8	458	△458	—
計	7,523	41,555	21,671	13,453	4,394	6,009	94,608	8,977	103,585	△458	103,127
セグメント利益	118	6,386	1,273	1,847	228	689	10,543	351	10,894	△167	10,727

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△167百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△313百万円、棚卸資産の調整額△66百万円及びその他の調整額212百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	7,503	—	21,989	14,326	4,492	5,963	54,275	9,337	63,613	—	63,613
米州	—	47,468	—	—	—	—	47,468	—	47,468	—	47,468
その他	53	—	—	—	—	—	53	46	100	—	100
売上高(注) 4	7,556	47,468	21,989	14,326	4,492	5,963	101,797	9,384	111,181	—	111,181
外部顧客への売上高	7,556	47,468	21,989	14,326	4,492	5,963	101,797	9,384	111,181	—	111,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	421	—	23	2	0	270	718	9	727	△727	—
計	7,978	47,468	22,013	14,328	4,492	6,233	102,515	9,394	111,909	△727	111,181
セグメント利益又は 損失(△)	133	9,195	1,086	1,959	△21	648	13,003	225	13,229	△38	13,190

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△38百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△320百万円、棚卸資産の調整額60百万円及びその他の調整額221百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。